

「財部小学校の俵踊り伝承活動の取組」

1 学校名

曾於市立財部小学校

2 学年・人数

財部小学校第5学年児童53名

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

6月中に毎週2回，夏休み中の出校日2回 ※7月は宿泊学習のため実施せず 財部小学校体育館及び校庭

(2) 発表の日時・場所

平成27年 9月 6日(日) 財部小学校高校体育祭
※雨天により中止

平成27年 9月27日(日) 財部小学校小学校秋季大運動会

平成27年10月25日(日) そお市民体育大会イン財部

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

俵踊り(たわらおどり)

(2) 由来

江戸時代の終わりに，若者の心と体をきたえ，地域の結びつきを強めるとともに，豊作を報告する踊りとして生まれ，今に伝えられてきた。現在は，川内(かわち)の方々がこの貴重な文化遺産をふるさとの心として踊り継いでいる。本校5年生もその心を大切に，伝統的に運動会での披露を続けている。

(3) 構成等

直径20cm，高さ50cmの円柱形の俵を用いて踊る。3部構成となっており，1部では直線的に，2部では円を描きながら俵を用いて踊る。3部では俵を使用せずハンヤ節を踊る。

財部小学校第5学年児童53名

郷土芸能 俵踊り保存会 会長 亀元光夫さん他 演奏の方々4名

5 保存会や地域との連携の具体

運動会の表現活動の一環として練習に取り組む。保存会会長に指導を依頼し、修正や個別の指導は学校で行う。演奏をされる方への連絡は会長へ依頼する。練習の場が学校のため、授業（体育）に位置付ける。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

運動会の学年種目として第5学年児童が伝統的に踊り継いでいる。伝統的な踊りのため、前年度までの映像を活用することもできる。川内地区への関わりが薄い児童がほとんどで、地域の踊りという位置付けより、先輩が引き継いできた踊りという面を強調し指導を行う。

7 取組の様子



8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ 雨の中だったが、間違えずに最後まで踊りきることができた。ハヤシ（かけ声）も大きな声でできた。先輩方が引き継いできたバトンを次の学年に引き継ぐことができてよかった。

【教員】

- ・ 児童を、地域に伝わる伝統に触れさせる意義は大きい。運動会の表現練習としてだけではなく、教育課程に位置付けることで無理なく伝承していくと考える。